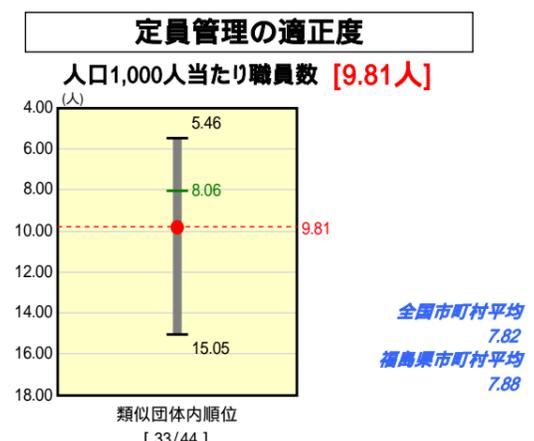
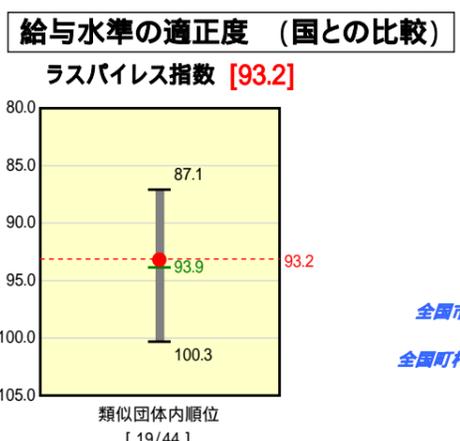
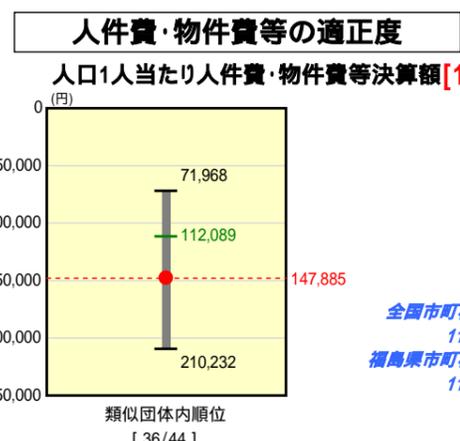
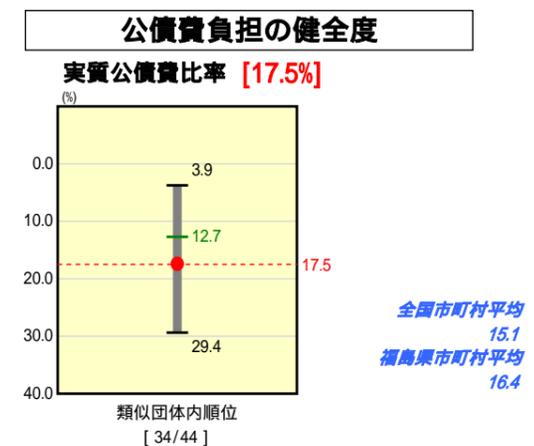
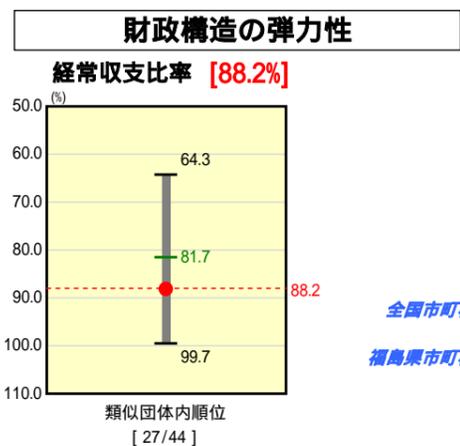
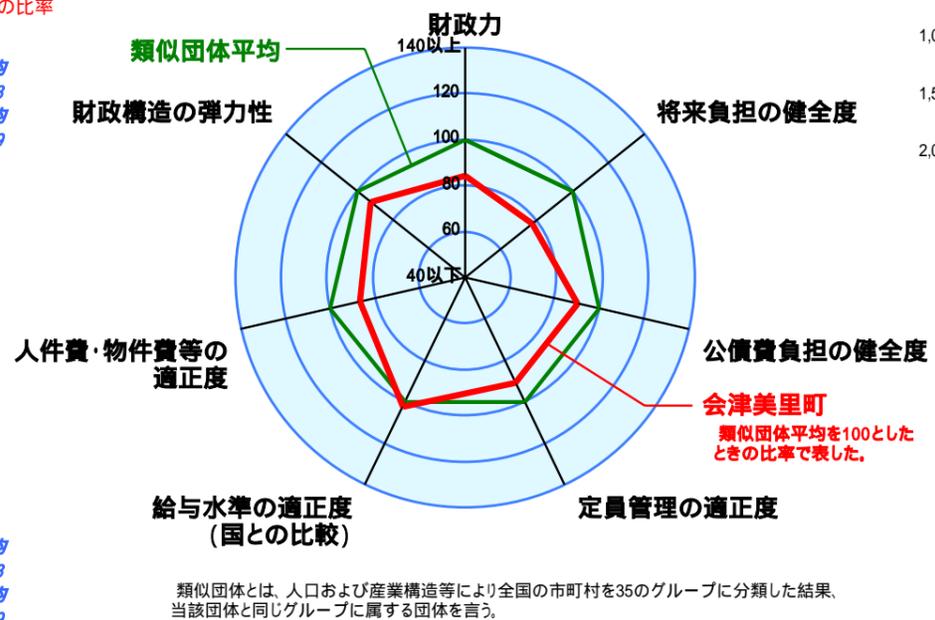
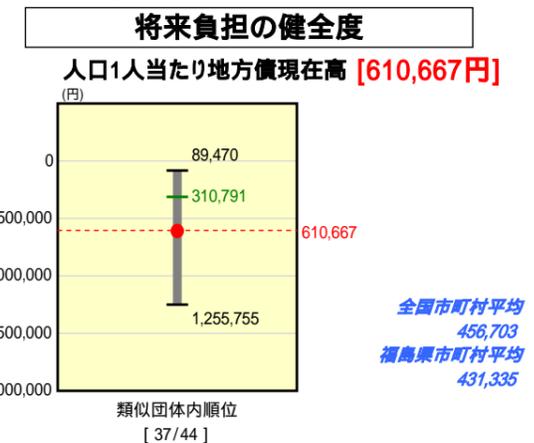
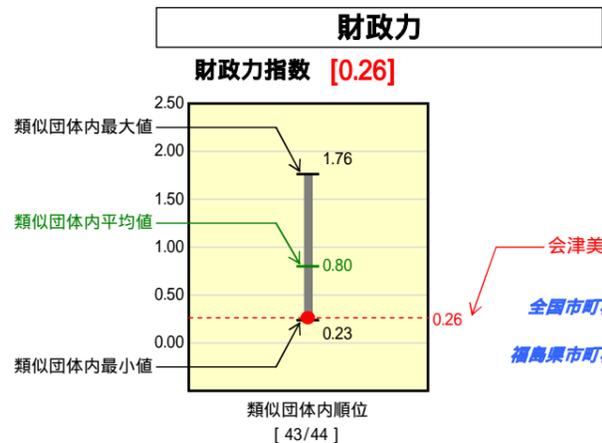


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福島県 会津美里町

人口	24,974	人(H19.3.31現在)
面積	276.37	km ²
歳入総額	11,518,811	千円
歳出総額	11,345,676	千円
実質収支	156,420	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
長引く景気低迷により特に法人関係の税収が低迷していることから、0.26と類似団体平均を大きく下回っている。新鶴インターチェンジ恒久設置のメリットを生かし、新鶴・高田工業団地への企業誘致を進め、法人関係税収の増収を図る。

経常収支比率
公債費及び町村合併に伴う職員の増加により88.2%と類似団体平均を上回っている。高金利の地方債の借換による利子償還金の抑制を図るとともに、集中改革プランに基づく職員数の大幅な削減や合併効果を発揮した経費削減に努め、平成22年度決算時までに85%以下を目標に改善に努める。

実質公債費比率
国営会津宮川土地改良事業負担金及び普通建設事業にかかる起債の償還に伴い上昇し、類似団体平均を大きく上回っている。高金利の地方債の借換による利子償還金の抑制を図るとともに、今後控えている大規模な事業計画を整理・縮小し新規発行債を基準財政規模の10%以内に抑制することにより、平成22年度決算時までは16%以下にする。

人口1人当たりの地方債現在高
平成17年度の国営会津宮川土地改良事業債約27億円が大きく影響し類似団体に比較して約2倍となっている。人件費をはじめとする義務的な経費の削減を中心とする行財政改革を強力に進めるとともに、今後の事業計画の整理・縮小により新規発行債を抑制し、地方債残高を確実に減らしていく。

ラスパイレース指数
旧来より給与の適正化に努めており類似団体平均を下回っている。引き続き、管理職手当、時間外手当等の抑制、給与の適正化に努める。

人口1,000人あたりの職員数
町村合併に伴う職員の増加により類似団体平均を上回っている。集中改革プランに基づく新規採用抑制により平成23年4月までに46人程度の純減を図る。

人口1人あたり人件費・物件費決算額
類似団体を上回っているのは、主に人件費が要因となっている。集中改革プランに基づく人件費をはじめとする義務的な経費の削減を中心とする行財政改革を強力に進めるとともに経費の抑制に努める。